

婦人科治療最前線

お腹を全く切らない経膣腹腔鏡下手術(vNOTES)

経膣腹腔鏡手術とは

経膣腹腔鏡手術は腹部に傷が一つもない腹腔鏡下手術です。膣を切開し、膀胱と子宮の間、直腸と子宮の間に特殊な器械を挿入し、腹腔内に炭酸ガスを注入し、手術に必要なスペースを確保します。カメラや鉗子などを全て膣から挿入し、子宮（卵巣・卵管）を摘出します。器械を外して摘出した臓器を膣から取り出します。膣切開部を縫合して手術は終了です

対象疾患

- ・子宮筋腫 ・子宮腺筋症
- ・子宮頸部異形成 ・子宮脱 など

メリット

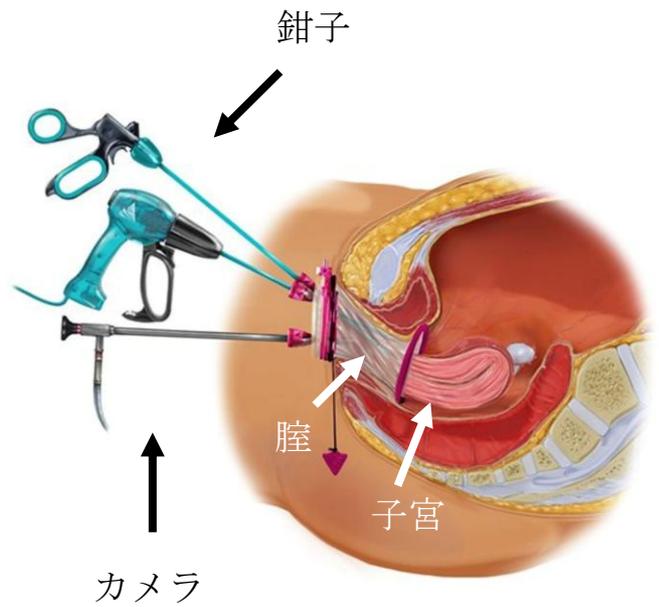
- ・術後の痛みが少なく、早期の社会復帰が可能です
- ・腹部に傷がなく、美容面ですぐれています
- ・費用は従来の腹腔鏡手術と同じです

デメリット

通常の腹腔鏡手術より受けられる方が限られます
以下の場合には経膣腹腔鏡手術は難しいです。

- ・腹腔内の癒着が予想される
(過去の手術、骨盤内感染、内膜症など)
- ・子宮摘出されている
- ・性交経験がない等で膣が狭い
- ・高度の肥満がある

vNOTES のイメージ



〈きずの比較図〉

